



ハレを 祝おう展

2017.1.12_{thu.} - 2.28_{tue.}

平成記念美術館 ギャラリー

[開館時間] 10:00 - 18:00 [休館日] 日曜日 [観覧料] 無料

[主催] 株式会社 平成建設



ハレを 祝おう展

春のめでたい日、ハレの日を祝う器を展示いたします。

一族が集まって自宅で祝うことの少なくなった現在ですが、長い間日本人が大事にしてきた文化の一端を担う、生活の中のできたい形・めでたい模様の意味とデザインを改めてご覧いただきたく、展示いたします。いつの時代も、どの国でも人々の願いは共通です。家内安全・開運招福・無病息災・子孫繁栄・健康長寿・商売繁盛・学業成就・縁結び……。様々な喜びと願いを身近な器や家具、建築に込めてきました。昔から厄除けや魔除けに用いられた植物や形は、現在も思わぬところで受け継がれて使用されています。今一度、先人たちが願いを込めて子孫へ残してくれた模様の中から、幸せの意味を感じてみたいと思います。

平成25年12月に、「和食 日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産となりました。実は登録された「和食」とは、自然の恵みを分け合い、食の時間を共にし、家族や地域の絆を深めてきた「食」に関する「習わし」です。日本の人々が、年中行事を通して家族や地域の和を培い、四季の美しさと自然の移ろいを感じる器の美を大事に守り伝えてきた結果でもあります。心豊かな春に向けて、共にハレを祝いましょう。めでたし・めでたし



漆 重箱「蒔絵御重」(蓋裏)
作者：清瀬一光／安原祥窓



漆器「牡丹唐草菓子器」



陶器「古伊万里
柿右衛門手 染錦八角盆」



象牙置物「半葩」

平成記念美術館 ギャラリー

〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4

〈開館時間〉10:00～18:00

〈休館日〉日曜・年末年始

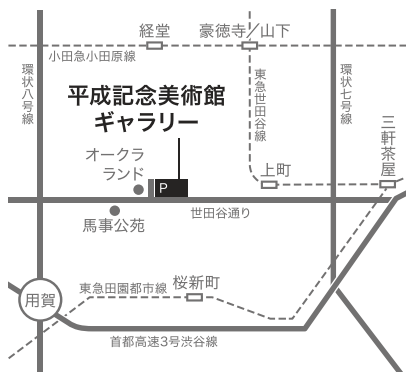
〈観覧料〉無料

【お問い合わせ】03-3426-1103

アクセス

〔電車〕東急世田谷線 上町駅より徒歩10分

〔お車〕馬事公苑正門より世田谷通り沿いに東へ約650m
(駐車場5台有)



ごあいさつ

平成記念美術館長 秋元 久雄

株式会社平成建設は創立25周年を記念して、世田谷に平成記念美術館 ギャラリーを開館し、当館が収蔵している世界の美術品を広く公開いたします。スペインのジョルディ・セラ、初代徳田八十吉、薩摩の藪明山等の陶芸作品、明治の細密技巧の漆芸、木工といった工芸作品等を順次展示してまいります。これらは豊かな感性のもと確かなWAZAで創り上げられ、現在世界的に評価を受けている作品です。当館では収蔵品の展示の他、今を創る作家、未来を創る次世代作家を取り上げて展覧会を開催いたします。高いWAZAで表現された作品は多くの方の心に残る作品であり、日本の未来を創り上げる物と確信しております。当館は今後、工芸を中心としたアーティストの発掘と育成、ワークショップ、講演会、公募展の開催、国際交流事業等を展開し、当館から世界に向けて芸術発信をしてまいります。

次回企画展のおしらせ

2017年3月6日(月)～4月10日(月)
「茶箱は宇宙」展

※スケジュールは予定の為、変更になる場合があります。